



主な目次

城下町萩のひみつ2	P4
ズームアップ 溝口仁志(千葉県)	P6
中村三郎(萩市)	P7
元気企業探訪16 (株)サン精機(萩市)	P8

夏の海のレジャーは海水浴、釣り、ウィンドサーフィンなど。サーフショップとして、菊ヶ浜正面にカフェを併設する「波猿NAMIZARU」。阿武町のサーフスポット清ヶ浜には、Hick Factory (木与)。堀内菊ヶ浜にある宿は、萩焼の陶器風呂や露天風呂の「萩焼の宿 千春楽」、露天風呂付き客室と足湯や岩盤浴が人気の「宵待ちの宿 萩一輪」。写真撮影 三好健二(土原)

第93号 2010年 5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

初夏の日本海 光と風に向かって



合併後初の萩市名誉市民

石川 幸子 さん
さちこ
 (広島市在住 87歳)



石川さんと故・守永洋子さん (写真)

平成17年3月6日に1市2町4村が合併して誕生した萩市は、今年3月6日で5周年を迎えました。

これを記念して萩市民館で開催した萩市制施行5周年記念式典において、広島市在住の石川幸子さんに、名誉市民推挙状と名誉市民章が贈呈されました。

石川さんは、萩市の人材育成や教育振興のため、平成6、7年の2か年に2億円を寄付され、萩市ではこれを原資として、萩市大学進学奨励基金を創設しました。

これまでに61人がこの奨学金を活用しており、平成18年から中学生を対象とした長州ファイブジュニア語学研修にも活用しています。萩市名誉市民は、旧市町村時代を含め13人目で、合併後初めてとなります。

萩への想い

(守永洋子先生との出会い)

石川さんは、旧阿東町(現山口市)出身。昭和18(1943)年から40年間にわたり大分県、山口県、広島県の高専学校などで教員を務められ、県立広島国泰寺高校を最後に定年退職されました。

この間、昭和39(1964)年に赴任先の学校で萩市出身の守永洋子さんと出会い、病と闘いながら教育に励む守永さんと共に教員生活を送られました。

平成5年、守永さんは他界。郷里を愛し続け、21世紀を担う有望な人材の育成を願われていた守永さんの遺志を継ぎ、守永さんの故郷である萩市へ、平成6年に現金1億円、平成7年にも現金1億円

を寄付されました。

さらに、平成10年、教育振興基金として現金500万円、平成13年に教育文化振興のため、グラウンドピアノ一式(約1120万円相当)を萩市へ寄付されています。これらの功績から紺綬褒章を4回受賞されています。

受賞のことば

(3月6日の式典から)

萩市名誉市民に推挙していただき、さらに名誉市民章をいただき恐縮に存じております。

今日の日がございますのも、市長様および市の方々の温かいご配慮と当局ご出身の守永先生との並々ならぬ出会いによるものでございます。

先生は、慈悲の心深く、至誠に長けた方でした。昭和39年、乳がんの手術後、同居することになりましたが、生活の中で、私を育ててくださったいました。亡くなる前に「乳飲み児を残していく母親の心境のようでした。あなたは、私が死んでも守りとおす」と言葉を残して旅立たれましたが、今でも先生の魂を肌で感じている石川でございます。

この名誉市民章は、先生と一緒に受けたいと存じます。残された人生を名誉ある萩市民の一人として生きていきたいと思っております。ありがとうございます。

萩市が異議申し立て!

「吉田松陰」などの商標登録を阻止

特許庁が歴史上著名な人物の商標登録の取消を決定

歴史上の人物の商標登録は、大正時代から既に行われており、岐阜市では「織田信長」を酒蔵会社が登録し、こうした商標をうまく地域おこしに役立てている例もあります。

しかし、萩とは縁もゆかりもない宮城県の会社が申請し、その権利を引き継いだ東京の会社が、平成19年11月「吉田松陰」「高杉晋作」「桂小五郎」の名前を商標登録しました。

月、特許庁に「歴史上の著名な人物名の商標登録については、独占排他的にその権利を主張すること自体が認められるべきでない」として異議申立てをしました。

その結果、今年1月中旬に特許庁から、これらの商標登録を取り消す決定がありました。

取消決定の理由は、「商標登録された「吉田松陰」をはじめ歴史上著名な人物と出願人の関係が認められず、その商標登録を認めることは、地域の観光振興など公益的な施策の遂行を阻害し社会公共の利益に反する」というものです。特許庁では、歴史上著名な人物名の商標登録の取り扱いについて、以前から苦慮していたこともあり、このたびの萩市の異議申立てが契機となつて、昨年10月に新たな基準を定めました。

歴史上の人物はみんなの財産で独占的な使用を認められないとしたことで、この商標登録問題については、一定の決着が図られました。問い合わせ 総務課(08338・253・3439)



吉田松陰

高杉晋作

桂小五郎

「^{ひとや}獄に咲く花」
全国公開!!



▲映画の舞台となった「野山獄跡」
◎まあーるバス西回り、野山獄跡入口バス停下車、徒歩1分



幕末の思想家、吉田松陰先生の野山獄での淡い恋を描いた映画「獄に咲く花」の全国公開が、4月10日始まりました。全国の主要都市10館に続き、5月以降も全国各地での公開が予定されています。全国の皆さん、ぜひご覧ください。

◆4月10日、全国公開スタート

全国公開初日の4月10日、東京都千代田区有楽町の「有楽町スバル座」では、出演者の舞台あいさつが行われました。

吉田松陰役の前田倫良みちよしさんは

「偉大な人物像としてでなく、青春を駆け抜けた二人の若者として伝えることができるといふ思いで演じた」と役への取り組みを披露しました。

◆ロコミで広がる、県内先行上映入館者は1万7000人

全国に先駆け2月から山口県で先行上映されましたが、入館者は約1万7000人にのびりました。

▼直木賞作家・土川薫の名著「野山獄相聞抄」を、ベテラン撮影監督で「必殺始末人」で監督デビューした石原興が映画化。松下村塾を主宰した教育者・吉田松陰。海外渡航を企て投獄された時期の、短い生涯でただ一度の儂い恋を描く。94分

▽全国ロードショー（期間は予定）

- 上映中～5/7(金)
【東京都千代田区】有楽町スバル座(03-3212-2826)
- 5/8(土)～
【岩手県盛岡市】盛岡ルミエール(019-625-7117)～5/14
【神奈川県小田原市】小田原コロナシネマワールド(0465-45-5671)～5/21
【岐阜県大垣市】大垣コロナシネマワールド(0584-75-5671)～5/21
【福井県福井市】福井コロナシネマワールド(0776-52-5671)～5/21
【大阪府高槻市】高槻ロコ9シネマ(072-684-8088)～未定
【広島県福山市】福山コロナシネマワールド(084-981-5073)～5/21
- 5/15(土)～5/28(金)
【山形県山形市】MOVIE ON やまがた(023-682-7222)
- 5/22(土)～5/28(金)
【岡山県岡山市】シネマ・クレール(086-231-0019)
- 5/29(土)～6/11(金)
【群馬県太田市】太田コロナシネマワールド(0276-25-0711)
【石川県金沢市】金沢コロナシネマワールド(076-266-5812)
- 6/12(土)～6/25(金)
【長野県松本市】松本シネマライツ(0263-24-0122)
- 6/19(土)～7/2(金)
【京都府京都市】京都シネマ(075-353-4723)
- 7/3(土)～
【青森県つがる市】シネマヴィレッジ8・イオン柏(0173-27-5500)～7/9
【長野県長野市】長野千石劇場(026-226-7665)～7/16
- 7/17(土)～7/30(金)
【新潟県新潟市】新潟・市民映画館シネ・ウインド(025-243-5530)



▲有備館（明倫小学校内）
当時「西日本一」の教育施設と称されていた藩校明倫館の槍剣道場。龍馬もここで剣を振ったと言われ、今も当時のまま残っている



▲薩長土連合密議の処（松陰神社内）
薩摩の田上藤七、長州の久坂玄瑞、土佐の坂本龍馬が日本の将来について語り合った場所。当時、ここには龍馬が泊まった旅館があった

（キャスト）
近衛はな（高須久）、前田倫良みちよし（吉田松陰）、目黒祐樹（福川犀之進、野山獄の監視役）

現在、ヒット中のNHK大河ドラマ「龍馬伝」。視聴率は関東の18%に比べ、山口県では28%と10%も高く、関心の高さがうかがえます。その坂本龍馬も、実は萩を訪れています。

■龍馬、松陰の草莽崛起に触れる

文久2（1862）年1月、龍馬は土佐勤王党首領、武市半平太の手紙を久坂玄瑞に届けるため萩に9日間滞在し、吉田松陰の「草莽崛起」に触れました。そして、その年の3月龍馬は土佐を脱藩し、薩長同盟、大政奉還など、歴史に残る偉業を成し遂げていきました。

■「かくすれば…」松陰と龍馬

西洋文明を知ろうとした松陰は、アメリカ密航未遂事件を起こし、その心境を「かくすればかくなるものとしりながらやむにやまれぬ大和魂」と詠みました。数年後、高杉晋作が師の「かくすれば」の歌を大声で吟じると、酒を酌み交わしていた龍馬は「かくすればかくなるものと我も知るなほ止むべきか大和魂」と返しました。松陰は龍馬に強烈な印象を残していたのです。

◆有備館で歴史トークイベント

普段は非公開の有備館で、萩市特別学芸員の一坂太郎が龍馬と萩を語ります。

▽歴史トーク「龍馬立志の萩」
▽5月1日（土）・2日（日）午後2時～▽7月31日（土）・8月7日（土）・10月2日（土）午前10時30分～、午後2時～
▽有備館 ▽20人（当日30分前から受付、無料）

◆有備館の特別公開
午前10時～午後4時



▲坂本龍馬肖像画（萩博物館蔵）
萩で久坂玄瑞から草莽崛起論を聞かされた直後、土佐を脱藩した坂本龍馬の肖像画

龍馬は萩で日本を救う志を立てた

城下町 萩のひみつ

2

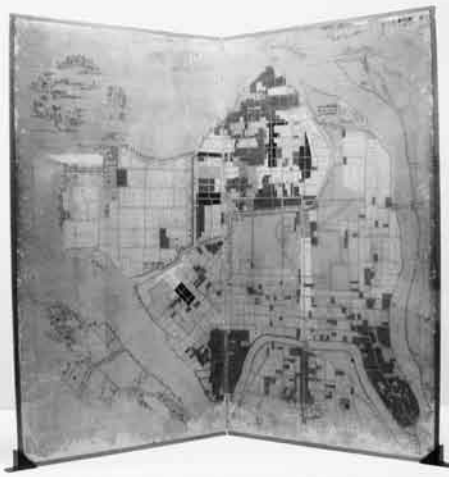
城下町の基礎は、どのように形作られたのか？

萩は、江戸時代の城下町絵図を、今も地図として用いることができる「まち」です。

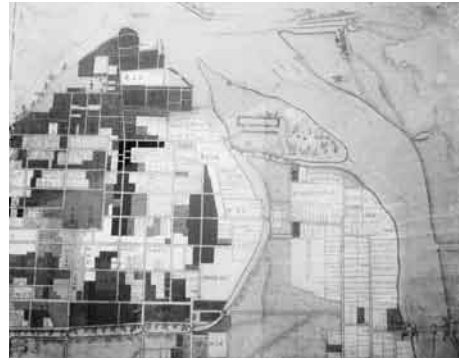
江戸時代の城下町が大きく壊されることなく伝えられている理由については、次号以降でご紹介します。今回は、城下町がどのように形成されてきたかについて、前号に続いておさらいをしてみましょう。

城下町のあゆみ②

①1800年代の弘法寺周辺 (浮島)



1800年代初め頃の城下町絵図



三角州北東部(部分)

1800年代初め頃の城下町絵図です。
前述したように、人工の溝川である新堀川が1680年代に、同じく大溝(藍場川)が1740年代に築かれます。これらによって萩三角州の治水排水が進み、利用できる土地が拡大しています。

三角州の北東部分です。以前の絵図では、松本川から三角州中央辺りにかけて入江状の湿地が広がっていた場所に、寺院(弘法寺)を中心広い土地が認められます。現在、この一帯には浮島という地名が伝わっています。土地に刻まれた地名は、もともとはその辺りが、湿地の中に、まさに浮いた島のように存在した中州であった歴史を伝えていきます。
寺院周辺に形成された土地は、その後「弘法寺菜園」と呼ばれる城下への野菜供給地となりました。

②1849年に藩校明倫館
続いて、1850年頃に描かれたと考えられる城下町絵図です。萩三角州の形は、現在、私たちが目にしているそれに近いものになっていきます。1600年代の初頭に始まった城下町の整備が、ほぼ完成する時期の絵図といえます。
一般的に城下町絵図では、侍屋敷・武家屋敷地や藩の施設が、白色、または無着色で表現されます。白地の一画一画が一軒の屋敷地や施設で、そこに記された文字は、



1850年頃の城下町絵図

当主の名前、または施設の名称になります。
ちなみに、寺院や神社は赤色で表現され、町人地は町単位で一色に塗り分けられています。緑色に表現されているのは農地や農家です。
さて、この白く表現された箇所注目して、1850年頃の絵図と1800年代初め頃の絵図とを比べてみて下さい。
三角州の中央辺りに、ひとときわ広く描かれた白い区画が目にと留まると思います。この一画が、1849年に落成した藩校の「明倫館」です。幕末期、文武を奨励



藩校明倫館(部分)

する藩の方針で拡充整備されたものです。敷地の面積は、1万5千坪を超えます。
それまで藩校明倫館は、旧三の丸(城内)にあり、その敷地は1千坪に満たないものでした。それに比べると、新しい明倫館は大変に広大な施設・敷地で、藩の力の注ぎぶりが伝わってきます。
このような拡充整備は、三角州中央辺りに、造成・開発ができる低湿地があったからこそ可能となりました。新しい藩校を整備するにあたり、元からの武家屋敷地や城下町は壊されませんでした。

③菊ヶ浜に土塁(女公場)

萩

ものがたり

萩ネットワークの好評連載「ふるさと文学散歩」06年3月〜10年1月号まで24回が再編集され、ブックレットシリーズ「萩ものがたり」として出版されました

2010年
4月新刊

VOL
25・26

読みがき文学散歩 作家たちの萩 上・下巻

上 萩ゆかりの作家たち(64ページ)

下 萩を舞台にした小説や紀行(72ページ)

高木正熙(萩博物館館長) 定価各600円(税込)



- 萩は風光明媚な土地にひっそりと息づく歴史ロマンの宝庫。作家たちがこの重厚な歴史と美麗な自然の萩を、どのような感性・視点で捉え、描いているか。
- 上巻では、萩にゆかりのある作家や詩人・歴史家など12人を取り上げています。
- ①吉屋信子と蓮池院
 - ②中原中也と『冬の長門峡』
 - ③永松定と『萩の独楽廻し』
 - ④兼常清佐と『ピアニスト無用論』
 - ⑤国木田独歩と萩
 - ⑥国木田独歩と富永有隣
 - ⑦井上剣花坊と『川柳王道論』

- 萩は歴史的な視点だけで捉えられがちだが、多くの作家が萩を題材に書くなど文学的要素も濃い。下巻では、萩を旅した著名作家の作品を通して、「歴史に息づくまち・萩」は「文学の中のまち」でもあることが分かってくる。
- ①中野重吉と『萩のもんかきや』
 - ②黒井千次と『素顔の町・萩』

- ③高樹のぶ子と『HOKKAI』
- ④瀬戸内晴美(寂聴)と『萩焼と白壁と夏ミカンの町』
- ⑤立原正秋と萩・長門
- ⑥沢野久雄の『花と蜜柑と萩焼と』
- ⑦『防長三人旅の記』―河上徹太郎・三好達治・井伏鱒二
- ⑧奈良本辰也と萩
- ⑨大宅壮一と『見果てぬ夢の町』
- ⑩小田実と『維新の聖地』
- ⑪末松謙澄・堺利彦と長州のこども
- ⑫佐藤朔太郎と『萩日記』
- ⑬司馬遼太郎と長州
- ⑭それぞれの萩 ―城山三郎・南條範夫・草柳大蔵・戸塚文子・斯波四郎・連城三紀彦・獅子文六・永井龍男(書き下ろし)

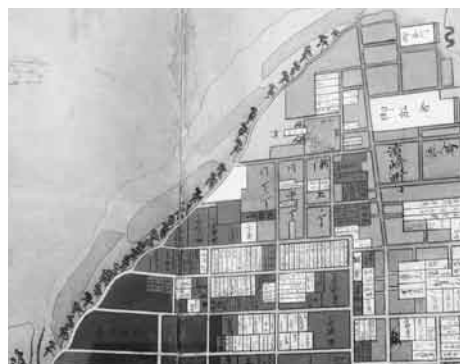
【著者紹介】

高木 正熙 1942年、大分県生まれ。地方民間放送に入社。報道部長、取締役ラジオ局長、取締役テレビ局長等を歴任。2004年、萩まちじゅう博物館館長、萩博物館館長に就任。
日本ペンクラブ会員。

■郵送での購入

萩ものがたり事務局へ電話、FAX、メールで申し込み
■申し込み

萩市広報課内萩ものがたり事務局
(0838・25・3233、FAX 26・5458)



菊ヶ浜土塁(絵図部分)

1869年(明治2年)の城下町絵図です。藩庁は、幕末の1863年に山口に移っていますし、明治維新の後でもありますが、正確には城下町絵図とは呼べないのかもしれない。

実はこの絵図には、幕末期の萩城下の緊張が伝わってくる興味深いものが描き込まれています。萩三角州北部の浜崎から日本海に面した菊ヶ浜にかけて、1863年に4箇所設けられた土塁の範囲が、緑色で表現されているのです。

この土塁は、構築にあたって城下の老若男女が工事にあたり、特に女性の姿が目をはいたことから「女会場」と呼ばれました。

④1855年に姥倉運河

ここで特に注目していただきたいのは、絵図右上部、松本川河口辺りから東(右方向)に延びる水



姥倉運河(絵図部分)

路です。これが、1855年に開削竣工した姥倉運河です。絵図からも見て取れますが、松本川の河口部分は狭くなっています。水深も浅く、大雨の出水時には、せき止められた形の水が、しばしば三角州の低湿地に浸水しました。

そこで、松本川の水をいち早く日本海へと流出させて、城下を洪水から守るために建設されたのが姥倉運河なのです。

江戸時代に築かれた新堀川、大溝(藍場川)、姥倉運河は、いずれも現地に、建設時と大きく変わることなく存在しています。それらは、水と戦い、水と共生してきた城下町の歴史を、目に見える形で今に伝える貴重な資料なのです。
(萩博物館統括学芸員 清水満幸)

溝口 仁志 さん

(萩市熊谷町出身 千葉県在住、49歳)



本欄への寄稿依頼文には「全国で活躍されている萩出身者を紹介するコーナー」とあり、参考のために送っていた既刊の著者はまさにそれにふさわしい方ばかりだ。高校卒業後、志高く故郷をあとにし、功成し遂げ故郷・萩を懐かしく振り返っておられる。自分分はあてはまらない。九州の大学2校に在籍、ふらふらした長い青春を謳歌、最初に勤めた会社も4年で辞め、最たる目的もなく今の会社に拾われた。故郷を離れて30数年まではいいが、活躍などという言葉とはおおよそ無縁。家族を美祿市に残しての単身生活が5年になろうとしている一介の出稼ぎサラリーマンだ。

望んだ東京勤務ではないが、得たものは多い。小さな地方紙でもメディアというものは正当な理由と目的があれば国の中枢部に踏み入ることができる。霞ヶ関や国会、首相官邸などこの仕事をしていなければ一生拝むことのない光景を目の当たりにした。何に役立つわけでもないが、間違いなくここに

いる人たちが国を動かしているのだという実感はわく。テレビで同じ光景を眺めてもこの感覚は味わえない。通信社や新聞協会などの

招きで当代一流の政財界、評論家の講演も数多く聴かせていただいた。個々に名は挙げないが秀逸な話も多くあった。ともに首相になる前の麻生氏、鳩山氏の講演も拝聴したが、ほとんど憶えていない。こちらの記憶力に大きな問題があるのだろう。

前段で触れた内容の詳細はほとんど字にすることができない。いわゆるオフレコ。新聞やテレビでは語られないもの。内輪の宴席や茶飲み話には最適。いつまで東京勤務が続くか定かではないが、いずれは地元に戻る日が来る。口頭でこっそり情報提供するのも地方新聞社の役目なのではと一人合点している。

熊谷町に生まれた。近くの野山獄、向かい合わせの岩倉獄は格好の遊び場。不謹慎にも、碑によじ登ったりしていたが、吉田松陰が獄に繋がれていた場所だという認識はあった。再訪してみると生家は取り壊され、所々に更地は目立つものの、街並みの趣は当時のままだ。お気に入りの蕎麦屋「ふじたや」は代替わりしても往時のままの姿で変わらない味を出し続けている。

仕事をないがしろにするわけ

はないが、生活の軸は家族が暮らす山口にあると思う。車で40分、実家があり、両親、幼稚園から高校まで同じ学舎で過ごした知己が暮らす萩は、また幸い、思い出にひたるどころか限りなく現実的な故郷なのだ。

萩への一言

ベネッセコーポレーション会長・福武総一郎氏が「地域の最高の代物は地域で消費する。少し劣る代物を都会へ出荷すればいい。最高が欲しければ地域に足を運べ」と言っておられた。

萩には数々の逸品があり、また埋もれている。地元の人が最高のものを味わい、魅力を発信する。「お望みならどうぞいらつしゃってください」と。ネット全盛の時代とはいえ、人が動かないと街に活気は生まれえない。

私の近況

萩の思い出

プロフィール

- 1960年(昭和35年)生まれ。
- 1979年 萩高卒(31期)。
- 1994年 山口新聞社入社。
- 2005年 東京支社次長。
- 2007年より現職。

■山口新聞東京支社
〒105-0021 東京都港区東新橋
1-3-9 楠本第6ビル
TEL: 03・3571・7568

中村三郎さん (萩市権在住・81歳) が大賞に!



村を出ず 子に従わず 稲を刈る

村には自分の時間が流れている。山にも川にも自分の時間が流れている。出来ることなら死ぬまでこの時間の中で生きていたいと思う(自句自解)

など、表現力は増し高い評価を受けています。

今回の受賞に対し「俳句を作るものとしては最終目標のような賞。行間から余情がにじみ出る俳句を目指しています」と、更なる表現の高みへ意欲を見せています。

【プロフィール】

昭和3年萩市吉田町生まれ。20年旧制萩中学校卒業、旧制山口高校卒業。

萩市江向に双葉不動産を創業。現在、双葉不動産(有) 代表取締役。

句会「橙花吟社」主宰、号は静山(せいざん)。

【最近の受賞作】

鮫鯨の 口より吐かす 競りの札

(平成19年山口県俳句大会真知事賞)

繭のごとく みどりご包み 初詣

(平成20年NHK生涯学習フェス

ティバル特選)

這い上がり 土手にごろ寝の 蓮根堀

(平成21年NHK生涯学習フェス

ティバル特選)

今年1月24日、NHKホール(東京・渋谷)で行われた「平成21年度NHK全国俳句大会」で、国内外約5万句の投稿句の中から、萩市権在住の中村三郎さん(81歳)の俳句が全国トップの大賞に選ばれました。

昨年度のNHK全国俳句大会一般の部では、題詠「人」を設け、自由題と合わせて、4万8661句が投句されました。一次・二次審査を経て入選約9000句を選考、その中から約7000句の秀句を選んだ後、大串章氏、長谷川権氏など現在の俳句界を代表する俳人20人が審査し、審査員各3句ずつを特選句として選び、その60句の中から最終選考で大賞の6句が決まりました。

その6句の中の1句が中村さんの作品「村を出ず 子に従わず 稲を刈る」。二見で農業を営む中村さんの同級生から「娘から街に出てくるように誘われたが、断り続けている。村には

第5回JFC作曲賞を受賞!

山本和智さん (萩市出身)



今年3月20日、トッパンホール(東京都)で行われた日本作曲家協議会(JFC)主催の若手作曲家(35歳以下)のコンクール「第5回JFC作曲賞」本選会で、萩市松本出身の作曲家・山本和智さん(34歳)が作曲賞を受賞しました。

応募作品16作品の中から譜面審査を通過した4人の気鋭若手作曲家による室内オーケストラ作品が演奏され、山本さんの作品「半径50m」が受賞作に決定。この賞は、若手作曲家にとつては登竜門的な存在として知られる。

山本さんは「日ごろ作曲活動をする大学の部屋で聞こえてくる自然の音、人が作り出す音など、半径50mという可聴域を楽譜に表した作品です。

賞をいただいたことはもちろん嬉しいことですが、それ以上に今回の譜面は間違っていなかったという喜びが強かったです。昨年武満徹作曲賞で2位をいただいたときの反省点をどう解消できるか、一つの成果が出た作品なので、実際に音となって表れたときには喜びがありました」とアーティストらしいコメント。

株式会社 サン精機

県内の企業が首都圏の業者にプレゼンテーションと商談を行う「おいでませ!やまぐちビジネスマッチング2010」に、椿、ひまわり、ゴマ、ナタネ、茶の実など様々な種子から油を抽出する搾油機を出展し、注目を集めている株式会社サン精機を訪し、楠卓勲 代表取締役(33歳、萩工業高平成7年卒)に話を聞きました。



小・中型搾油機では日本唯一のメーカー

新たに無添加の椿油「萩椿オイル」を商品開発

大型から精密機械加工業へ

昭和48年に、父・正次がサン精機の前身である楠卓精機を設立します。当初は工作機械部品製作工場として開設しましたが萩市という立地条件では大型機械工業には限界があり電機メーカーの精密治具、金型設計製作などにも着手します。それまで培った知識・経験をより精錬された分野に活かすためコンピューター制御による精密機械加工へと業態を変えていきます。

最先端技術を保持する事を目標とし平成4年に社名をサン精機に変更、現在では3次元CAD/CAMによる金型設計製作・半導体治具から食品・医療器まで多分野にわたる精密機械加工に携わっています。

自社製品「搾油機」の力

100分の1ミリ以下という精密機械加工を追及するのと同時に進行し弊社の大きな転機となったのが搾油機の製造・販売でした。約8年前、搾油名人と言われた故・石野十郎氏から小型搾油機の開発を依頼されたのを機に搾油機製造を開始しました。

ゴマ・菜種・ヒマワリ・椿などといった様々な種子から油を搾る機械で、これまで弊社が培った機械加工技術が盛り込まれメンテナンスが容易、扱いやすいと好評を得、ニッチな産業ではありますが小・中型搾油機では国内唯一のメーカーとして今までに710台販売いたしました。

展示会での出会い

弊社も数年前から販路開拓のため関東を中心に展示会へ出展していましたが今年2月に東京で開催された「おいでませ!やまぐちビジネスマッチング2010」では初めて搾油機をメインに出展させていただきました。そのイベントの企画運営をされた萩市出身の(株)コスモピア・田子みどり社長には大変お世話になり関東で活躍される萩市出身の方たちをご紹介していただきました。客観的に萩市を見つめ直す機会にもなりましたし、この出会いが私にとって、大きな刺激となりました。

社長となり、会社・社員を守るため、町工場として今後どのような形態で事業展開していくかを考えなくてはなりません。固定観念にとらわれることなく現在進めているのは、椿油の製造・販売です。萩市の花でもある「椿」、その種子と弊社搾油機を利用し無添加の椿油「萩椿オイル」という新たな商品を開発しました。食用としても使用できるこの商品を基点に萩市内の各企業が参加した「HAGITSUBAKI」ブランドというものも考えています。全国各地で弊社搾油機を利用し町おこし・村おこしが成功しているように、萩市内で食品・化粧品等、椿を使った商材が増えれば新たな観光材として注目を浴びることにありますし、原材料確保のため、椿の植樹が必要になり荒廃した農地の再利用、新たな雇用も生まれます。

無限の用途・可能性を秘めた椿は萩市の新たな文化(ブランド)となり地域活性化のツールとして大きな役割を担ってくれるのではないかと考えていますし、弊社も微力ながら萩市に貢献できるのではないかと考えています。

地域活性化にも



澄川酒造の東洋美人 サッカーワールドカップの 日本代表へ!

“おいしい日本酒を世界へ”

FIFA公認の日本酒

6月に開催されるサッカーワールドカップ(W杯)南アフリカ大会。このワールドカップ公認の日本酒全17種類の中の一つに、萩市田万川地域の小さな蔵元で造られている「東洋美人」が選ばれました。東京の麻布や表参道にも出店している「はせがわ酒店」が、国際サッカー連盟(FIFA)とラ イセンス契約し、全国の蔵元に呼びかけたもので、W杯を通じて低



迷する日本酒の国内消費を喚起し、「SAKE=Smart & Tasty」日本酒「おしゃれでおいしい」と全世界の新規顧客の開拓を狙い。

エーストラライカーの10番

ラベルデザインは、ボールを蹴るサッカー選手と、エーストラライカーの番号「10」が目印で、躍動感が感じられるオリジナルポスター。

山口県産の酒造好適米「山田錦」が最大限に生かされた純米酒。口に含むとフルーツ系(いちご)の香りが広がり、透明感のある新鮮な水のようにすーっと喉を通り抜けていきます。

ゼロから一杯へ

FIFA公認のお酒は世界でも初めてのことで、澄川酒造場の澄川宜史社長(36歳)は「お話をいただいたときは、嬉しいというより責任を感じた。全世界へPRする絶好の機会。これまで日本酒を飲んだことがない国の人が手にとれば、ゼロから一杯へつながる」と熱い思い。

なお、「東洋美人」とは初代社長が亡き妻に向けて命名したものです。

欧米を中心に世界で販売

欧米やアジアの約20か国のFIFA公認店などで販売されるほか、国内では全国の百貨店やスーパー、コンビニで販売しています。

価格は750ml入りが1500円、375ml入りが800円。

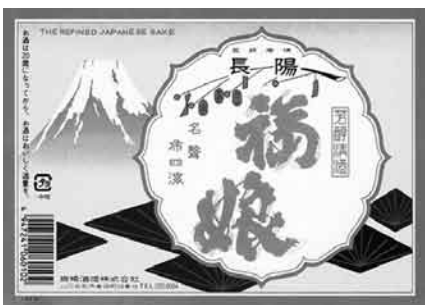
■問い合わせ
澄川酒造場(萩市大字中小川611番地、08387・4・0001)
※FIFA公認の「東洋美人」(750ml)を2名様にプレゼントします。詳しくは15ページ

岩崎酒造の「長陽福娘」 山口県新酒鑑評会最優等賞

岩崎酒造の「長陽福娘」が、山口県の平成21年度新酒鑑評会、純米酒の部で最優等賞を受賞しました。

岩崎酒造(東田町)は明治34年創業で、水は井戸から湧き出る阿武川の伏流水を使っています。「昨年の秋の台風到来で原料米の品質が心配されたが、例年にも増して香味の整ったお酒に仕上がった」と、五代目の岩崎喜一郎さん(45歳)。

萩からは、他の酒造会社も優等賞を受賞しており、酒処・萩を今も受け継いでいます。優等賞は次のとおり。



【吟醸酒】▽宝船(中村酒造)
▽長陽福娘(岩崎酒造)▽長門峡(岡崎酒造場)▽東洋美人(澄川酒造場)

■萩椿オイル

椿の真実(国産椿使用)



日本でも有数の椿産地を有し、市の花としてもツバキが登録されている山口県萩市。椿の本当のチカラ(真実)を知って頂くために、そこから萩椿というブランドが生まれました。搾油機のメーカーが搾った国産椿オイルです。

椿の真実

※「椿の真実」を1名様にプレゼントします。

HAGI TSUBAKI

(株)サン精機

本社:萩市東浜崎町11番地10
TEL:0838・22・7677
資本金:1,000万円
従業員数:30人
事業内容:精密治具・金型設計製作・機械加工/搾油機



萩焼新進作家 5

波多野 指月窯

波多野英生さん

(萩市堀内在住、萩高平成2年卒 38歳)



萩緋色花入

自由奔放

萩焼作家・波多野善蔵の息子に生まれ、自由奔放に育った幼少時代、近所の指月山に登るなど、体を動かすことと共に自然を感じるのが好きな少年でした。また、美術・図工が好きで、モノを作る、モノを触ることに没頭し、人と話さなくても時間を過ごせる内向的な部分もあり、子ども心に営業職

は無理だなと思ったたりしてしました。高校に入り当時は理系を選んでいたのですが、将来はエンジニアになりたいと思い、工学部へ進学することを夢見ていましたが、美術部で活動するうちに、美術への関心が深まり、その道に進むことを考えるようになりました。

萩焼作家へ

多摩美術大学彫刻家に入學し、



彫刻を学ぶうちに、造形の奥深さを知り、徐々に焼き物にも興味を持つようになります。そして卒業後、京都市立陶工高等技術専門学校成形科に入學し、焼き物を本格的に学び始めます。その後、同じく京都の工業試験場で学んでいるうちに、広い作業場、土地のある実家に戻れば色々な作家活動ができるだろうと思うようになり、萩に帰りたいと強く思うようになりました。

京都市立工業試験場の課程を修了した平成10年、その思いに添い帰郷、父・善蔵に師事し、いよいよ萩焼作家の道を歩み始めます。この選択について父は、幼少のときよりの私に接するスタイルを変えることなく、押すことも、反対することもありませんでした。

好きだからこそ続けられる

平成15年に自分のはんこを作品に押すようになってからは、デザイン、色を自らが決め、当たり前前

の事ですが、その作品が良くとも悪くとも、すべて自らに返ってきます。自分の作品に責任を感じること、徐々に駄目なところが分かってくるようになり、それまでの自信が薄れてきます。また、生活をしていくために、作ったものをお金にしなくてはなりません。それは自らの生活だけでなく、従業員の生活を守らなければならぬので、ただ作陶するだけでなく、日本各地で個展を開いたり、あまり得意でない対外的なこともしなくてはならなくなりました。しかしながら、多くの人と接することにより、萩焼の世界がより面白く感じ、作陶活動が改めて好きになり、好きだからこそ続けられると強く思うようになりました。

現在、不景気の波が萩焼業界にも厳しく襲いかかり、経営も簡単ではありません。しかしながら、尊敬する先輩が仰ってくれた「好景気のときは萩焼を売るのが忙しい

くなるのだから、不景気のときは、研究し、作呂聖を深めるチャンスだ」という言葉を胸に、食べていけないと嘆くのではなく、これをチャンスだと思い、自らを磨き、次のステップへと繋げていきたいです。やはり好きでないとできない仕事です。

【波多野英生】

1971年生まれ。90年萩高等学校卒業、96年多摩美術大学彫刻科卒業、97年京都市立陶工高等技術専門学校成形科修了、98年京都市立工業試験場修了、同年父、波多野善蔵に師事する。

01年〜08年の間：日本伝統工芸展連続入選、03年：九州山口陶磁展「サガテレビ賞」受賞、04年〜09年の間：田部美術館「茶の湯の造形展」連続入選、06年：九州山口陶磁展「日本経済新聞社賞」受賞

□波多野指月窯
萩市堀内2区247
(0838・22・1784)

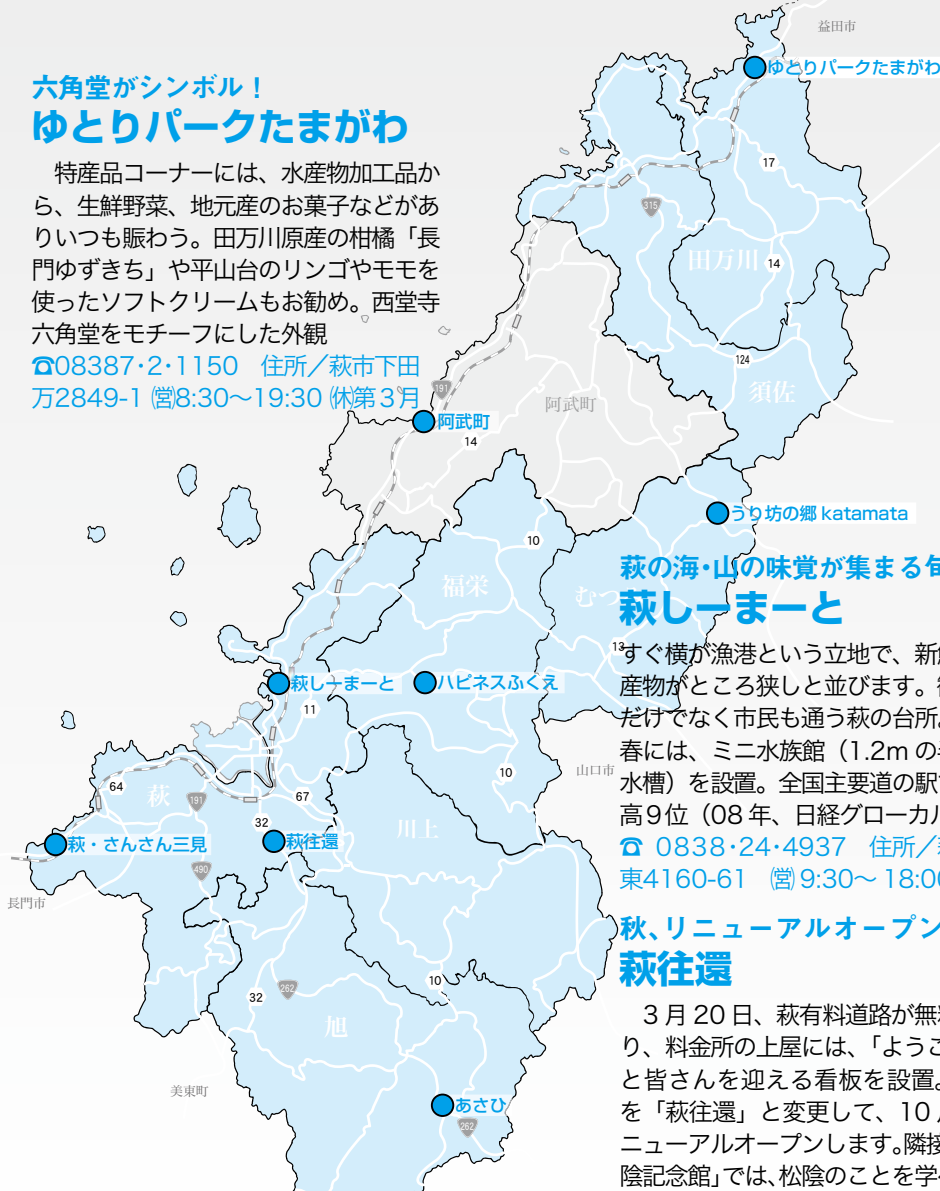


萩・阿武 道の駅めぐり

六角堂がシンボル！ ゆとりパークたまがわ

特産品コーナーには、水産物加工品から、生鮮野菜、地元産のお菓子などがありいつも賑わう。田万川原産の柑橘「長門ゆずきち」や平山台のリンゴやモモを使ったソフトクリームもお勧め。西堂寺六角堂をモチーフにした外観

☎08387・2・1150 住所/萩市下田
万2849-1 (営)8:30~19:30 (休)第3月



今や日本全国に936か所もある道の駅。休憩所の域を超え、特産物や情報が揃う地域の拠点となり、もはや旅の途中が目的地の一つとなってきました。

萩・阿武にも、道の駅が8つあり、その数は全国トップクラス。4月の萩・さんさん三見のオープンに続き、10月には萩往還がリニューアルオープンします。それでは萩ならではの特色ある道の駅をご紹介します。

全国道の駅発祥の駅！ 阿武町

町の玄関口として新鮮な農林水産物や特産品の直売を始め、公衆トイレ、食堂、日本海温泉「テルメ阿湖」、温水プール等があります。

☎08388・2・0355 住所/阿武町大字奈古2249 (営)9:00~17:00



特産のトマト、イノシシ肉！ うり坊の郷 katamata

地元・片俣特産のトマトを使ったトマトケチャップや、夏季限定のトマトソフトクリームが人気。イノシシを飼育し、シシ肉も販売しています。

☎08388・8・0114 住所/萩市片俣1244-7 (営)9:00~17:00

とれたて野菜が盛りだくさん！ ハピネスふくえ

農業が盛んな地の利を生かして、毎朝穫れたて野菜の直売市を併設。すべてワンコイン100円の料金が魅力。福米米やふくふく味噌も買えます。

☎0838-52-0356 住所/萩市福井下4014-2 (営)8:30~18:00 (休)月

萩の海・山の味覚が集まる旬市場！ 萩しーまーと

すぐ横が漁港という立地で、新鮮な海産物がところ狭しと並びます。観光客だけでなく市民も通う萩の台所。今年春には、ミニ水族館(1.2mの半円形水槽)を設置。全国主要道の駅で売上高9位(08年、日経グローバル)

☎0838・24・4937 住所/萩市椿東4160-61 (営)9:30~18:00

秋、リニューアルオープン！ 萩往還

3月20日、萩有料道路が無料になり、料金所の上屋には、「ようこそ萩」と皆さんを迎える看板を設置。名称を「萩往還」と変更して、10月にリニューアルオープンします。隣接の「松陰記念館」では、松陰のことを学べます。



萩往還を旅する人の休憩場所！ あさひ

山口と萩の間に位置し、ちょっと寄って休みたくなる場所。地元の農産物加工品や、名物「佐々並豆腐」も買えます。

☎0838・56・0278 住所/萩市佐々並2476-1 (営)9:00~18:00

日本海を臨む絶好のロケーション！ 萩・さんさん三見

萩・三隅道路の三見明石PAに4月3日オープン。ピワやブロッコリーなど四季折々の農産物や、獲れたての鮮魚などを販売。レストランもお勧め

☎0838・27・0041 住所/萩市三見1028-2 (営)9:00~17:00 (休)火



「道の駅」とは？
気軽に誰でも立ち寄れる、憩いと語らいの場所、休憩のためのパーキングのほか、地域の文化や歴史、また名所や特産物などを紹介する情報発信など、多機能型の休憩施設です。

■萩市・阿武町には、全国トップクラスの8つの道の駅

一つの自治体に道の駅が複数あるのは、岐阜県高山市の8か所がトップ。萩・阿武にも道の駅は8か所あり、全国トップクラスです(萩市7つ、阿武町1つ)。

■「全国道の駅発祥」阿武町
新しい支配人が決定!!

「鉄道に駅があるように、道路に駅があってもよいのでは？」という声をきっかけに、全国に先駆けて平成5年に第1号登録証が交付されました。

活気ある道の駅に再生することを目指す、その仕掛人(支配人)を募集したところ15人から応募があり、新谷宏志さん(46歳)に決まりました。下関の彦島出身で、東芝に勤務していた新谷さんは「阿武町の農家民宿の活動に共感できる。町の方や道の駅のお客様との対話を大切にして、人と地球にやさしい道の駅を目指したい」。経営および施設改善を図り発展性のある道の駅を目指し、新たなスタートをきります。

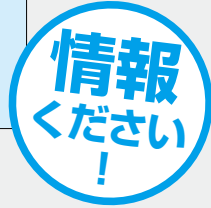
男性26人、女性23人の計49人が参加。40年以上継続し、5年に1回は全国の400人に案内。平成19年10月には、卒業50周年の記念会を開催。会長は、山本貞壽氏(山本胃腸科医院)。事務局は、椿プチハウスの平田清子さん(0838・25・9252)。

関西9期会として、11月下旬に奈良1泊2日の旅行が計画されています。



同窓会だより

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。hagi-network@city.hagi.lg.jp



大阪指月会

4月18日

大阪弥生開館(大阪市北区)



山縣喜一同窓会長、河村議員を中心に校歌斉唱

50代から80代までの47人が参加し、今年が65回目となる伝統ある同窓会。萩高校は今年創立140周年。10年ぶりとなる会員名簿を5月下旬発刊予定。記念事業も計画されている。来賓として出席した河村建夫・前宮房長官は「今年で国政に携わって20年」とあいさつ。

高校卒業生
萩に残るのは約1割

9割弱が市外・県外へ

今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は450人でした。うち市内へ残ったのは、大学6人、就職42人、専修学校など6人の合計54人で、卒業生の12%。9割弱の若者が、市外・県外へ、進学・就職しています。

市内54人/450人=12%
(昨年は52人/536人=9.7%)

萩市・阿武町内高校卒業者の進路状況

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	内萩市	全体	内萩市	全体	内萩市
萩高校	180人	132人	1人	3人	0人	45人	3人
萩商工高校	176人	26人	3人	111人	22人	39人	2人
萩光塩学院高校	39人	18人	0人	3人	3人	18人	3人
奈古高校(須佐分校含む) ・徳佐高校高俣分校	55人	7人	2人	34人	15人	14人	0人
合計	450人	183人	6人	151人	40人	116人	8人

萩高生の進路先

地元に近い中国地方が大半

今年3月に卒業した萩高校3年生の進路先は、地元に近い中国地方が全体の約半数の94人でした。続いて、九州・沖縄の46人、近畿の18人、関東の17人。昨年同様、根強い地元志向と、今の経済事情が少なからず進路先に影響しているのかもしれない。

地方別の進路先

地方	人数
北海道・東北	0人
北陸	0人
関東	17人
東海	2人
近畿	18人
中国(山口県内)	94人
四国	3人
九州・沖縄	46人
合計	180人

萩商工高生の進路先

卒業生全員が進学、就職

今年3月に卒業した萩商工高校3年生は、176人全員が進学や就職など、進路先が確定しています。進路先は、最も多かったのが中国地方の109人で内山口県内に76人。次いで、近畿29人、九州・沖縄の26人。

地方別の進路先

地方	人数
北海道・東北	0人
北陸	0人
関東	8人
東海	2人
近畿	29人
中国(山口県内)	109人
四国	2人
九州・沖縄	26人
合計	176人

萩商工高校同窓会ホームページ開設!

平成19年、萩商業高等学校と萩工業高等学校が統合し、43年ぶりに萩商工高等学校が再設されました。これに伴い、両校の同窓会「たばな会」と「からたち会」も昨年3月に合併し、新たに発足した「萩商工高等学校同窓会」

全国各支部の同窓会の開催情報や本部・支部の役員などが紹介されています。また、7月10日(土)午後6時から開催される本部総会で、同窓会の名称を参加者の投票により決定、発表する予定です。

(池田誠 次会長) が今年3月、ホームページを開設しました。

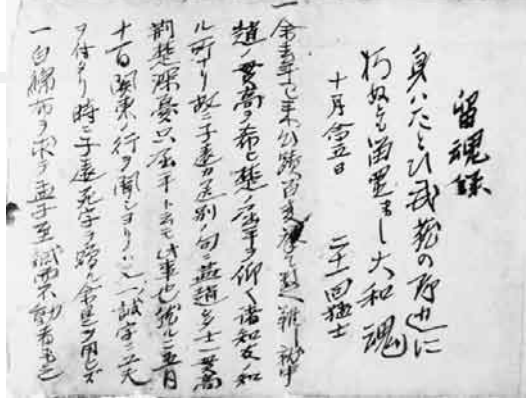
萩商工高等学校同窓会アドレス <http://www.hagi-ct.yasn21.jp/dousenkai/index.html>

◆萩商工高校同窓会名簿を作成! 全同窓生は2万1700人、現在確認ハガキを発送中。名簿の発刊は来年1月の予定。





松陰神社宝物殿[至誠館] (年中無休、一般500円)



吉田松陰筆「留魂録」の冒頭(至誠館所蔵)

吉田松陰と

沼崎吉五郎

上

山本 貞壽 (萩市椿東)

吉田松陰(1830~59)が安政の大獄で、江戸伝馬町の獄舎で処刑されて今年(2009年)は150年。10月27日であった。この日を中心に萩でも多くの行事が行われた。そのうちの大きいものに「松陰神社宝物殿至誠館」の竣工がある。まさに松陰に関する至宝が集められている。この最高のものが「留魂録」。至誠館には「留魂の間」が特設され、「留魂録」は特別展示としてあつかわれる。「留魂録」は松陰の遺書であり、あの有名な句「身はたとひ武蔵の野辺に朽ぬとも留置まし大和魂」に始まる半紙4枚折りの19面に松陰が心血をそそぎ、処刑前日に書きあげた。古川薫氏は『志高く維新を先駆した炎の思想家吉田松陰が安政の大獄に連座し、牢獄で執筆した「留魂録」。愛弟子へ切々と訴えかける最後の訓戒で、死に直面した人間が悟り得た死生観を書き記した格調高い遺書文学の傑作』と評している。

現在「留魂録」は松陰神社で復刻されたものを求めることができているが、それに付けられた解説の最後に次のように記されている。「この留魂録は、福島藩の陪臣で殺人の嫌疑で投獄された、松陰と同囚の沼崎吉五郎に託して、門下生に届けてもらうことにした。沼崎は、三宅島に遠島となり明治になって釈放され、明治9年に神奈川県令野村靖(和作)が長州出身と聞いて手渡した。松陰に託されて17年の歳月が経過していた。この間大切に持ち続けた沼崎のおかげで、今日見ることができるのである」

松陰は2度伝馬町に投獄されており、いずれも沼崎と同囚であった。2度目のときには沼崎は半名主であった。牢内で松陰の講義などを聞くのが楽しみであったようである。松陰は沼崎のことを「至つて篤志の人物」と伝えていた。「留魂録」は周到に2部書かれ、残っているのは沼崎に託された方である。そして沼崎は「留魂録」を渡すと、飄として行方が分からなくなってしまう。(つづく)

(山口県医師会報 平成22年1月号から)

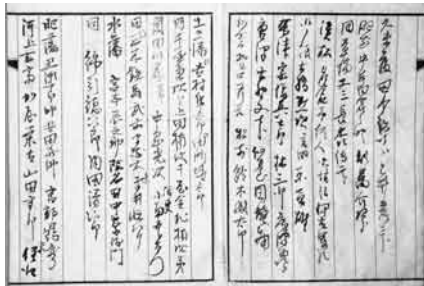
萩博物館だより

(☎08368・25・6447)

討幕エネルギーの系譜

6月20日(日)まで

幕府打倒までの道のりを、萩が輩出した吉田松陰、久坂玄瑞、高杉晋作、木戸孝允(桂小五郎)とながる人物の系譜で解き明かし、萩から生まれた討幕エネルギーが、どのように発展したのかを4人の視点から展示しています。新しい日本の姿を信じて戦い続けた幕末の若者たちの熱いエネルギー



▲観光録 晋作が交流した他藩士の姓名をメモした「観光録」。土佐の部分には武市半平太や岡田以藏の名も見える。

の発露を感じ取ってください。また、長州・薩摩という倒幕派を結びつけた坂本龍馬と長州志士たちとの関わりも紹介します。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(☎08368・24・2400)

川喜田半泥子のすべて

5月30日(日)まで

百五銀行頭取などの要職を歴任して財界で活躍する一方で、陶芸をはじめ書画、写真、建築、俳句などの各方面に斬新な芸術的才能を発揮した半泥子。ユーモラスかつ壮大な思念を表現したその創



半泥子自画像

棟方志功は、大正から昭和の時代を、ひたむきに美を探究して生き抜き、おびただしい数の作品を残しました。「祈りと旅」をテーマに、全長26mに及ぶ大作「大世界の柵」をはじめ、仏教をテーマにした版画や美人画などの代表作に加え、日本各地を行脚して描いた「海道シリーズ」やアメリカ旅行の作品なども紹介し、棟方志功の全貌に迫ります。

棟方志功 祈りと旅

6月12日(土)~8月15日(日)

情報アラカルト

東北地区

●ヘアテイル・ペアンソンと理沙・ペアンソン 父と娘の親子展
萩焼とガラス玉アークセサリーを展示します。
5月17日(月)～31日(月)
青森県三戸郡階上町大字赤保内字茨島下21・41 ギャラリー古泉
(0178・88・6770)

関東地区

●ふるさと萩・小川会
旧田万川町小川出身で関東在住者の同郷会。
5月30日(日) 正午～午後3時
東京都中央区銀座6・3・9 Sun・mi 高松6階瀬戸
(03・5568・3300)

■萩光塩学院関東支部「光友会」同窓会
萩光塩学院関東地区の同窓会。
光塩ファミリーの絆を大切に。
6月13日(日) 正午～午後2時
東京都中野区中野4・1・1
中野サンプラザ13Fスカイルーム(JR中野駅北口前)
(03・3338・1151)

■おいでませ山口館
岸田商会、井上商店、たけなか、八千代酒造などから出品。
○萩の美味しいもの

東海地区

5月10日(月)～13日(木)
○夏みかん産地直送(たけなか)
5月13日(木)～16日(日)
●8周年大感謝フェア
6月3日(木)～11日(金)
東京都中央区日本橋2・3・4
日本橋プラザビル1階
(03・3231・1863)

関西地区

■フタのある形Part II
三輪和彦、金子司の作品が展示されます。
4月24日(土)～5月30日(日)
正午～午後2時
岐阜県多治見市本町5・9・1
多治見市文化工房ギャラリーヴォイス(0572・23・9901)

■「西端蜂苑×なだ万日本橋店」書作展
東京日本橋料亭「なだ万」の店内を西端蜂苑(旧姓岡本順子、大阪府在住)の春の花のテーマの書作品で飾ります。
4月30日(金)～5月31日(月)
午前11時～午後10時
東京都中央区日本橋室町1・4・1
日本橋三越本店新館10階
(03・6214・2701)

■「食卓風景」4 scenes for table
濱中史朗の作品が一部展示されます。
5月29日(土)～6月6日(日)
東京都港区元麻布3・12・46

さる山(03・3401・5935)

東海指月会

東海地区の萩高同窓会。
6月13日(日) 正午～午後2時
愛知県名古屋市中村区 名古屋マリオットアソシアホテル17F桂
(052・584・1111)

萩商工同窓会関西支部総会

関西地区の萩商工同窓会。
6月12日(土) 正午～午後3時
大阪府北区芝田2・4・53
大阪弥生会館
(06・6373・1841)

関西山峡(やまなみ)会

旧旭村・川上村の同郷会。
6月27日(日) 午前11時～
大阪府都島区網島町9・10 太閤園(06・6356・1110)

若手陶芸家七人展

「セラミックス」七人七窯
岡田泰の作品が展示されます。
5月5日(水・祝)～11日(火)
大阪府大阪市中央区心斎橋筋1・7・1 大丸心斎橋店南館8階美術画廊(06・6271・1231)

ストリートミュージアム 三輪華子作(愛蓮) 収蔵式典

5月8日(土) 午前10時30分～11時
神戸市三宮センター街2丁目
アートスクエア(生田筋とセンター街の交差点)

(078・331・3091)

兼田昌尚展

兼田昌尚の作品が展示されます。
6月30日(水)～7月6日(火)
大阪府中央区 大阪タカシマヤ
(06・6631・1101)

中国地区

■広島指月会
広島地区の萩高同窓会。
7月3日(土) 午後5時～
広島県広島市南区 ホテルセンチュリー21広島
(082・263・3111)

「まめ」田村覚志・線描画展

田村覚志による線描画の展示会を行います。まめをテーマに、筆ペンで描かれた繊細な絵をお楽しみください。
5月21日(金)～5月31日(月)
午前9時30分～午後6時30分
鳥根県鹿足郡津和野町森村ハ19・1 三松堂益田店
(0120・174・006)

山口伝統工芸展 広島展

岡田裕の作品が展示されます。
7月20日(火)～26日(月)
広島県広島市中区基町6・27
そごう広島店
(082・225・2111)

山口県関係

■第33回山口伝統工芸展
波多野善蔵、野坂康起、岡田裕、泰はじめ全13人の萩焼作家の作品

萩ガラス工房展示会

「萩のみどり」と萩のひび」
ひび割れ加工の萩ガラス等が展示されます。

【東京】

5月12日(水)～6月1日(火)
三越・東京日本橋本店5F Jスピリッツ(03・3274・8533)
【東京・神奈川】
5月26日(水)～6月15日(火)
高島屋・東京日本橋店、横浜店、新宿店(03・3668・7294)

【大阪】

6月2日(水)～8日(火)
阪急梅田店12F オエックス展示会(06・6746・8251)
■「ネオジャポニズム 山の手西洋館フェスタJUNE」萩ガラス展

2007年第15回テブルウエア大賞・経済産業大臣賞受賞の谷内田順子さん(萩市出身)のテブルコーディネートです。
6月12日(土)～20日(日)
神奈川県横浜市中区元町1・77・4 横浜・山の手外人墓地西洋館「エリスマン邸」
(045・211・1101)

が展示されます。

5月21日(金)～30日(日)

山口市亀山町3・1 山口県立美術館(083・925・7788)
■創作ミュージカル「SHOW-N」若き志士たち「凱旋公演

新規(再)加入会員

(2月25日～4月25日 10人)

- 田中章さん (長野県小諸市)
- 重石稔さん (神奈川県茅ヶ崎市)
- 内田奈那さん (東京都渋谷区)
- 大場洋さん (萩市)
- 林章さん (萩市)
- 松浦照三さん (萩市)
- 吉田美雪さん (茨城県守谷市)
- 井上タキ子さん (奈良県奈良市)
- 小林時子さん (京都府京都市)
- 玉井博文さん (大阪府大阪市)

萩、山口、東京で大好評を得たミュージカルを再上演します。

6月6日(日)午後2時～4時
料金 一般2000円、高校生以下1000円(当日500円増
全席自由席)

下関市生涯学習プラザ大ホール
問い合わせ 財団法人下関21世紀協会(083・223・2001)

岡田裕 作品展

岡田裕の作品が展示されます。
6月17日(木)～23日(水)
周南市銀座2・14 近鉄松下百貨店(0834・21・5000)

■第65回日本消化器外科学会総会特別講演「私の陶芸―愛と維新」
12代三輪休雪
7月15日(木) 午前10時30分～11時30分
下関市民会館大ホール
(083・231・6401)

大屋窯&濱中孝子

濱中孝子の作品が展示されます。
7月18日(日)～25日(日)

山口市後河原122 ギャラリーラ・セーヌ
(083・922・4009)

九州地区

「二人展」

陶芸家濱中史朗の新作の器の展示が307号室で、イラストレーター川口澄子の最近の挿絵仕事や本などの展示が507号室であります。
5月13日(木)～24日(月) 午後1時～7時、水曜休み
福岡市中央区渡辺通2・3・27 待鳥ビル307・507
(092・733・1135)

■藤田恒頼 油彩新作展 ―漁夫の口マンを舟板にのせて―
藤田恒頼の油彩新作が展示されます。
5月26日(水)～6月1日(火) 最終日のみ午後16時閉場
北九州市小倉北区舟場町1番1号 小倉井筒屋新館7階美術画廊
(093・522・2525)

萩市関係

■Tanago/陶芸・渡邊陽子 作品展
渡邊陽子の作品が展示されます。
4月29日(木・祝)～5月9日(日) 午前11時～午後8時
萩市東田町西区144番地(たまちアーケード内) taz.
(0838・26・6020)

※展示会期間中は無休営業

■ヴァイオリンとピアノのコンサート―愛の調べ―
ヴァイオリニストの上野眞樹氏とピアニストの吉野妙さんの演奏をお楽しみください。
6月5日(土)、昼の部午後3時、夜の部午後7時30分
料金 前売り2500円、当日2800円
萩市土原弘法寺608・53 萩の宿・ともえー常茂恵一
(0838・22・0150)

■大屋窯SALE
期間中の5月1日～3日は、出張喫茶カピリン珈琲がやっています。
5月1日(土)～5日(水・祝) 午前10時～午後5時
萩市椿905 大屋窯
(0838・22・7141)

■萩往還まつり「技・明木展」
県内外の伝統工芸品や地元特産品等が展示、販売されます。
5月3日(日・祝)、4日(月・祝) 午前10時～午後5時 明木市周辺
問い合わせ 萩往還工芸まつり実行委員会(0838・55・0817) 内村

■ヴィレッジコンサート
●穂吉敏子ピアノ独奏会
5月25日(火) 午後7時と午後9時の2回公演
料金 7000円
萩市土原291・1 ヴィレッジ
(0838・25・6596)

テレビ情報

■NHK大河ドラマ「龍馬伝」
萩出身の俳優・松本実さんが、松村塾四天王の一人吉田稔麿役として出演します。
▼放送日 6月6日(日)、13日(日) 午後8時～8時45分

出版情報

■「萩・阿武の中世風土記」
河村公昭
萩開府以前の萩で活躍した豪族たちの衰退を物語風に記述し、同時代に日本で起こった主な出来事と対比させながら萩の古代・中世史を紹介する。
価格 1500円
発行 (有)マシヤマ印刷
申し込み 0838・22・4682 (河村)

■「伊藤博文直話」
幕末動乱をくぐりぬけた伊藤が、自ら語った唯一の「自伝」本。若き日の武勇伝を得意げに語る「直談」からは、本人の肉声が直に伝わってくる。
価格 700円
発行 新人物文庫

■「東京 幕末・明治さんぽ帖」
幕末・明治の偉人・大物二十数人になつたる歴史の舞台を歩く。
価格 880円
発行 交通新聞社
■「婦人画報6月号」

連載「この郷をゆく」で萩市が取り上げられます。
価格 1100円
発行日 5月1日
発行 アシエツト婦人画報社

プレゼント

○澄川酒造 F.I.F.A公認の「東洋美人」(750ml)を2名様。
○サン精機「椿の真実」(国産椿使用)を1名様。
■応募方法
ハガキに品名、氏名、住所、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。
5月末日(消印有効)。

金付集 高杉晋作の銅像

萩まちじゅう博物館銅像建立委員会(会長 野村興児萩市長)では、高杉晋作の銅像を今年10月31日に、晋作誕生地の近くに建立するため、寄付金を募集します。寄付者の名前は銘板に刻み顕彰します。
■募集寄付金 1口5万円
■募集口数 100口(1人1口)
■募集期間 5月6日から応募が100口になり次第(先着順)
■支払方法 市役所のまちじゅう博物館推進課備え付けの郵便振替用紙で振り込み
■申し込み 萩まちじゅう博物館推進課
(0838・25・3356)



最優秀賞



「優雅」吉本裕月(島根県浜田市)
(講評) 光の扱いも上手く、思わず引き込まれる

5月15日(土)～16日(日)
旧田中別邸・かんきつ公園 (平安古)
夏みかんセンター (椿東)

5月8日(土)～16日(日)
市内22か所の庭園等を一般開放
(畔亭0838・22・1755. 俣宿天十平など)

郷土料理レシピ⑤ 萩・阿武町

だいだい菓子

材料(5人分)

- ・夏みかんの皮……5個分
- ・砂糖……夏みかんの皮の重さと同量又は8割
- ・グラニュー糖……適量(仕上げにまぶす程度)

作り方

- ①ピーラーで表皮を薄く削る。
- ②削った皮を4つ割にして、1cm幅位に切り分ける。
- ③切り分けた皮を、落しぶたをしてたっぷりのお湯で柔らかくなるまで2～3回差し水をしながら茹でる。皮が手で切れるようになったら、水につけて冷ます。
- ④1回水をかえて、一晩水にさらす。

前日の作業

当日の作業

- ①水切りをして分量を量る。皮の重さと同量が8割の砂糖を3回に分けて鍋に入れ、みかんの白い部分が透き通ってくるまで弱火で煮詰める。
- ②煮詰めた夏みかんの皮をざるにとって蜜を落とす。
- ③うちわで扇いで冷ます。ある程度冷めたらグラニュー糖をまぶす。余分なグラニュー糖はざるを振って落とす。
- ④紙を敷き、その上にきれいに伸ばして並べ、扇風機で乾かす。
- ⑤乾いたら完成!



郷土料理豆知識!

夏みかんが萩で栽培されるようになったのは、明治初期。身分制度の崩壊で経済的に困窮した侍を救うため、屋敷で夏みかんを栽培したことに始まり、藩の財政を支えた。一つの木に新旧の実がなることから「代々(だいだい)」と呼ばれるようになった。夏みかんの皮も無駄にしない、萩人の知恵が詰まったお菓子で、現在も多くのご家庭で作られている。甘いものがなかった時代には、楽しみなおやつだった。

出版情報(続)

■「人形出會い旅」高橋まゆみ
人形作家・高橋まゆみさんの初の人形フォト&エッセー集。長野県飯山市に待望の人形館オープン。萩市在住の陽信孝さんとの出会い、交流について収録。

価格 1575円
発行 信濃毎日
新聞社

■「幕末時代劇『主役』たちの真実」〜ヒーローはこうやって作られた!
一坂太郎

だが坂本龍馬を有名にしたのか?! ヒーローたちが大活躍する幕末時代劇で私たちは胸躍らせながら歴史を学んできた。しかし彼らを英雄にしたのは後の時代の民衆だ。映画テレビの主人公を総ざらえ!



価格 880円
発行 講談社+
α新書

■萩ものがたりシリーズ 25・26
「読みがき文学散歩
作家たちの萩」上・下巻
(5ページ参照)

